平成28年度　会報

学芸

CONTENTS

●会報『学芸』第21号
発刊にあたり
名誉会長　仲西　晃 ……2
●ご挨拶
理事長　岡本利雄 ……3
●大丈夫か、日本の若者たち
高等学校　校長 佐藤精治…4
●平成28年度PTA活動計画
PTA会長　栗岡綾子……5
●大阪学芸高等学校
募集対策部報告 ……5
●大阪学芸中等教育学校だより
校長　柴田俊次 …7
●大阪学芸中等教育学校報告 …7
●女子サッカー部 ……8
●慰霊碑建立10周年に当り
名誉会長　和田貞夫 ……8
●慶事　オール阪神さんが
受賞される ……9
●現職教職員の近況報告 ……9
●「継続は力なりー絵と私ー」
顧問　猪瀬正雄…10
●活動報告 …… 11
●行事報告 …… 12
●同窓会入会式 ……15
●卒業生の近況報告 ……16
●教職員OB・OGの近況報告 …17
●昭和46年卒業生
同窓会に参加しませんか …17
●クラブ活動報告 ……18
●吹奏楽部OB会吹奏楽団……19
●新同窓会室のご案内 ……19
●学園理事長・同窓会会長
「井内　博見」先輩 …20
●年会費等納入のお願い ……21
●あとがき ……22
●平成28年度
年間行事予定のご案内 …23
●平成27年度 決算報告 ……23

第21号
2016

大阪学芸高等学校同窓会
（成　器　会）
発行所：〒558-0003　大阪市住吉区長居1-4-15
TEL06(6693)6301　FAX06(6693)5173
URL http://www.gakugei-seikikai.jp

会報学芸 第21号発刊にあたり

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）
名誉会長 仲西 晃

会員の皆様には益々ご清祥の段お慶び申し上げます。平素は同窓会運営にたいしまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の熊本地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災地におかれては、一日も早い復旧と皆様方のご無事をお祈り申し上げます。

今年も募集定員を大きく上回る７４４名（高校と付属中学合せて）の新入生を迎える事になり、母校の人気ぶりが伺えます。少子化時代にこれだけ多くの新入生を迎えられる事は、学園の役員・教職員並びに学園関係者の真摯な努力の賜物と感謝しております。

ちなみにこの春に卒業されて、同窓会の新入会員となられた若者は５１２名でした。めでたくご卒業されたことに対して心から「ご卒業おめでとう」と申し上げます。また新入会員となられた事に対して、同窓会一同は大きな喜びであり大歓迎いたします。どうぞ今後とも同窓会運営にご理解とご協力を頂きます様よろしくお願い申し上げます。

３年前学園創立１１０周年記念行事として、大阪市中央体育館で、私が実行委員長を務めて「学芸フェスティバル」が開催された年の入学生でした。３年間は早いもので驚いております。

世界の社会情勢は厳しく、日本も同様で、少子高齢化社会の時代を迎え、さまざまな問題が浮上してきております。グローバルな時代でもあり、日本一国で解決できない事柄が満載しており、全世界の国々が国連や各種サミットなどの話し合いの場を通じて、平和的に解決していく努力が求められます。次世代の地球上に住む人類にとって一番大切な事ではないでしょうか。

アメリカとキューバの国交が54年ぶりに回復した事は最近の明るいニュースになりました。私たちはみんな世界平和を心から祈っております。

さて、今年はオリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催される年であります。４年後の２０２０年には東京オリンピックが開催予定となっておる事は皆さん、ご承知の通りであります。東京で開催されるのは、２回目で1回目は１９６４年・昭和39年でした。この年には夢の超特急東海道新幹線（東京―新大阪）の開業と名神高速道路の開通などがあり、カラーテレビの爆発的な普及と自動車の普及などで、日本経済とインフラが素晴らしい勢いで発展と技術成長を遂げました。

新幹線は今年３月に北海道新幹線（新青森―新函館北斗）が開業し、九州から北海道まで繋がりました。札幌まで延びるは、２０３０年の予定ですが、新幹線がもたらす経済効果は絶大なものがあり、地元はもとより国民全体が期待しております。

なお、安倍内閣の新三本の矢と（①ＧＤＰ６００兆円に②希望出生率を1.8に③介護離職をゼロに・いずれも２０２０年の目標）、日本銀行の打ち出したマイナス金利政策、そして２０２０年の東京オリンピック開催決定を契機に再び我が国の力強い経済社会を取り戻すことが出来ればと期待しております。

高野山普賢院管理の墓地に、学園関係物故者慰霊碑を建立（完成）してから、今年は10周年を迎えます。毎年同窓会主催で行われております「高野山普賢院一泊と学園慰霊碑参拝及び野迫川温泉旅行」は今年も8月6～7日に予定しています。卒業生の皆さん、学園関係者の皆さん多数の方々のご参加を頂きます様よろしくお願い申し上げます。（詳細は高野山案内のページをご覧下さい）

会報（学芸）21号の表紙に井内博見先輩を採用させて頂きました。学園創立１００周年記念の年（平成15年）の学園理事長でもあり、会報（学芸）創刊号発行時の同窓会会長（第４代目）でもありました。学園理事長として学園にも、同窓会会長として同窓会にも貢献され、大きな足跡を残されました。「自分は学園創立１００周年の記念すべき年に理事長を務めさせて頂いている事は大変光栄な事で幸せです。」と言っておられた事を思い出します。皆さんもご存知の様に非常に温厚な方で、学園思いで後輩にやさしく、他人の言う事によく耳を傾けてくれる優しい人でした。夏の高野山普賢院参拝旅行には、大好きなウイスキーをいつも持参して、参加されていた事が懐かしいです。

同窓会主催の懇親会は、年に2回（春・秋）開催しておりますが、参加者は年々少しずつ増加している様子ですが、比較的高齢者が多く、若年者と女性の方々が少ない様です。

若い方々や女性の方々が気軽に参加していただける様に同窓会としても努力しなければならないと思っております。その為にも役員会に各年代の役員の方々に出席を頂き積極なご意見を戴きます様お願い申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様の今後ますますのご健勝とご活躍・ご多幸をお祈り申し上げ会報「学芸21号」発刊にあたりのご挨拶と致します。

ご挨拶

学校法人大阪学芸
理事長
岡本利雄

1. はじめに

同窓生の皆様には、平素より母校への多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学園は本年6月17日に、創立113周年を迎えました。幾多の年月を経て今日の隆盛を見ていますことは、大変喜ばしく、これも偏に同窓生の皆様を始め、すべての学園関係者のご理解・ご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

さて、4月14日夜、16日未明と立て続けに熊本県を中心とする地域一帯に大地震が襲いました。これにより多数の尊い命が失われました。謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々には衷心よりお見舞いを申し上げます。

今回の大地震では、当初、「本震」と思われた大きな揺れが、実は「前震」であり、二日後に発生した地震が「本震」であったとの発表がありました。専門家でさえ、今回のような地震の発生形態の判別が困難であるとの報道を見ますと、私達は今さらながらに、「地震列島」の暮らしの中での日々の防災意識の向上、そして、地震以外の災害もそうですが、実際に災害が発生した場合の具体的対応準備等を、これまで以上に心掛ける必要があると考えます。今回被災された地域が一日も早く復興することを切に願います。

2. 学園を取り巻く現況および生徒募集結果

昨年の同窓会報でもご案内しましたとおり、この4月1日より「大阪学芸高等学校附属中学校」が開校いたしました。記念すべき第1期生の入学者数は76名です。前回号でもお伝えしたが、附属中学校に入学する生徒は、落ち着いた学習環境の中でしっかりとした学力や体力を身に付け、3年後には大阪学芸高等学校の各コースへ内部進学することを予定しています。今後、益々重視される英語教育の強化など、豊富な学習時間に裏打ちされた特色あふれる教育を展開する所存です。

一方、相変わらず府内の生徒募集状況が厳しい中で、本年度、大阪学芸高等学校は668名の新入生を迎えました。高等学校生徒数は1911名、附属中学校を合わせますと1987名の生徒数を数えます。男女比で言いますと、男子934名、女子1053名と、昨年に続いて女子の人数が男子を上回っています。

3. 教育環境向上の取り組みについて

本学園は限られた敷地・施設の中で最大限の教育環境の充実を図って来ましたが、文化的教育（例えば茶道・華道・書道等）の必要性の観点から、和室を備えた文化的施設の設置が従来からの課題となっていました。また、近年、遠隔地から入学する生徒も増える中で、親元を離れても安心して勉学・クラブ活動等に専心するために、食堂・入浴設備等の生活基盤を備えた学生寮（管理人常駐）の設置も検討して来ました。以上の総合的な観点から、南館隣地に学園が所有する土地に、日本式庭園も備えた本格的な「作法室付学生寮」を建設することを決定し、平成28年2月末に無事竣工、引き渡しを受けました。

新しい学生寮の名称は「希望寮」と名付けました。また作法室の名称は「花香庵」です。「作法室付学生寮」の竣工により、本学園の教育環境は一段と向上するものと考えております。

また、教育のICT化（Information and Communication Technology）が全国的に進む中、本学園においても、昨年の本館全教室に続き、今年度は西館全教室の他、各館の教室にも液晶大型画面の「電子黒板」を設置します。

4. 「大阪学芸」ブランドのさらなる向上を目指して

前述のとおり、姉妹校の大阪学芸中等教育学校を合わせますと、今や本学園は生徒数が2600名を超える府内有数の中等教育機関として成長を遂げました。さらなる永続発展を続けるために、時代の趨勢とともに「大胆に変革を遂げるもの」と、時代を経ても「守り続けるべきもの」の見極めが大切です。肝心の教育内容については、現在、佐藤校長を先頭に教職員が一丸となって、様々な新しい取り組みも含めた「生徒が満足する学校づくり」に不断の努力を続けています。詳細は佐藤校長の学事報告に譲りたいと思いますが、学園理事会としては、既述の「作法室付学生寮」の建設のような、教育内容の向上をバックアップする環境整備を今後とも積極的に推進したいと考えます。質の高い教育内容と、それを支える良好な教育環境が両輪のごとく継続発展を続けることが、「大阪学芸ブランド」の向上に繋がり、ひいては厳しい少子化社会においても、安定的な生徒獲得をもたらすものと確信しております。

5. むすび

先にご紹介した取り組み以外にも、近隣地施設の長期賃借によって、「大阪学芸バレーボール・アリーナ」の整備や、会議室・講習室等に改装した「大阪学芸1号館」の整備など、昨年度から今年度に掛けて積極的な環境整備を実施しました。なお「大阪学芸1号館」3階には、新しい同窓会室を設置させて戴きました。従来の同窓会室は手狭でご不便をお掛けしておりましたが、新しい部屋は広々とした会議室を備え、事務機能も充実しております。この同窓会室が拠点となり、学園と同窓会が手を携えて、「大阪学芸」発展に益々寄与できるものと考えます。同窓生の皆様におかれましては、今後とも学園の教育活動に温かいご支援を賜りますことを切にお願い申し上げます。

最後になりますが、同窓生の皆様の一層のご活躍と同窓会の益々の発展を祈念致しまして、私の挨拶とさせて戴きます。

大丈夫か、日本の若者たち

校長 佐藤精治

建築家の安藤忠雄氏がかつて東京大学の入学式で3000人の入学生に対して6000人を超える保護者が参列しているのを見て「今日は、子どもの自立の日だから、二階席の方（保護者）は出て行ってください。子どもが大学生になったら、子は親を離れ、親は子離れすることが必要です。個人の自立なくして独創性や常識を疑う力はなかなか生まれてこない」と檄を飛ばしたことは有名な話です。

これは、当時の学長、小宮山宏氏の依頼によると言われています。小宮山氏も若いころ、貧乏旅行でヨーロッパの大手企業を回り、研究テーマを模索した経験がある。祝辞を依頼された安藤氏も十代の終わりに吉川栄治の時代小説「宮本武蔵」を読んで感銘を受け「武道を通して若者は自立心を養うだけでなく礼節を身につけ、家族や社会とのあるべき関係性を学べる」と考え、高校時代はプロボクサーを志しました。しかし、のちに世界チャンピオンとなるファイティング原田の練習を見て「才能が違う」ことを知らされ、大学には行かず独学で建築を学ぶ一人旅に出ます。この共通点が小宮山氏の依頼につながったようです。その小宮山氏も東京大学学長を退いた後、三菱総合研究所理事長となり「過去の成功例や常識が通用しない現在、自ら進む道は自立した人間にしか決められない」と言っています。

あの祝辞から八年。今、日本の若者たちは「自立」しているのでしょうか。

大学のホームページを見みると「二千人の親が押し掛けた就活説明会」という記事がありました。今、各大学では保護者を対象にした「就職説明会」が盛んだといいます。成人式を終えて二年もたっているのに「なぜ、親が」わが子の就職説明会」に行くのか。不思議だと思い企業側の言い分を聞いてみると「今は、子どもがわが社に就職すると言っても親が反対したら辞退してくるのです」と。大学もやむを得ず「就活説明会開催」となるのだそうです。でないと「高い学費をとっておいて、冷たいでしょう」と親が大学を攻撃されるから大変です。

どうやら、子どもが自立できない原因をつくっているのは「親」ではないでしょうか。

今の若者の親たちは「子どもに失敗のない人生を送ってほしい」という思いから「子ども自らの判断で行動する自由」を奪い続けています。親が整備した与えられた道の上だけを歩んできて、自分がいかに「ぬるま湯」につかってきたか子ども自身が気づかなければなりません。先の安藤氏が言うように「仕事は、失敗してそれを克服するから面白いのです。仕事力とは失敗を乗り越える能力のこと」と言っていることに親も気づかねばならない時に来ているのではと思います。大学生になれば、日常生活をすべて親にサポートしてもらっていてはだめなのです。そんなことをしていると何が欠落するかと言えば、判断力です。人生は判断の積み重ねです。実際にあった話ですが、大学の帰り道で「おなかが痛い、心臓が苦しい」とおじいさんに助けを求められ、「ああ、そうですか。気を付けてください」と言ってその場から立ち去る若者を創ってはだめなのです。失敗を避けるために普段から余計なことに関わらないようにしながら生きてきたのでしょうか。子どもの周りから危険なものをすべて取り除く社会となっています。行政側も訴訟を考えるとやむを得ないのでしょうが、このままいくと子どもに最も必要な「冒険心」もなくなっていくでしょう。社会の中でもまれながらも学習を続け、同胞のためにと日本にやって来る外国の若者に日本の若者は太刀打ちできるのでしょうか。

少子高齢化も大きな問題ですが、今の「親世代」が今一度、子育てのあり方について考える時に来ているのではないでしょうか。

「世の中は、自分の思いどうりにならないことの方がはるかに多い」。「みんな仲良くなんかなれない。大切なことは気の合わない人との距離間の取り方だ」とか昔の人が言った「二十歳過ぎればただの人」ということを根底にしながら教育学者アランの言った「子どもに割ったクルミを与えてはならない」という教育の箴言に立ち返る時ではないでしょうか。あの固いクルミを割って中にある実をいかにうまく取り出させるか。子どもに試行錯誤させる事こそ大切なのです。しかし、今、子どもたちは親が、学校が、社会が割ったクルミを与えられるだけで試行錯誤の経験もさせてもらっていないのです。この結果が、やがて大人となって社会に出る時、社会が自分が必要なものをすべて整え、待っていてくれるという勘違いをしてしまうのです。社会に出るとは、「ルールを知らないでドッチボールの試合に出るようなものだ」とはかつて吉本興業の元常務、木村政雄氏の言葉です。木村氏は「いきなりドッチボールの試合に出されるために最初は、ルールも分からず戸惑い、ボールに何度もあたり、散々な目に合ううちにやがてルールを理解し、どうすればボールから逃げることができるかを知る。こうして、みんなと楽しくやっていけるようになる」と言っています。何事でも三年はやってみないと本当に自分に合った仕事なのかなんて分からないはずなのに少ししんどいことや思い通りにならないことに出くわすと仕事を辞めてしまう。そして、「自分はやる気はあるが自分に合った仕事がないのは社会が悪い」とのたまうのです。このような若者を創りだしたのはいったい誰なのだろうか。

平成28年度ＰＴＡ活動計画

ＰＴＡ会長
栗岡　綾子

同窓会の皆様には、入学式・卒業式、その他いろいろな行事に、ご参加、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

本年度ＰＴＡ会長を務めさせていただきます、栗岡綾子です。

新役員、先生の皆様方と共に一丸となって活動してまいりますので、本年度も変わらぬご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

左記にＰＴＡ活動報告をいたします。

5月…ＰＴＡ総会(7日)／学級委員総会・新旧役員懇親会(28日)
6月…体育祭(24日)／1、2学年懇談会(25日)
7月…3学年懇談会(16日)／ＰＴＡ新聞「きずな」(第153)発行
8月…公費助成運動の取り組み(～11月)
9月…文化祭(10日)
10月…進路説明会(22日)
12月…社会見学・ＰＴＡ新聞「きずな」(第154)発行／私学助成国会請願／忘年会
1月…新年会／私学振興大会
2月…卒業式参列(22日)／ＰＴＡ新聞「きずな」(第155)発行
3月…役員会
4月…入学式参列

このほか毎月の定例会に加え、風紀（下校）指導に参加いたします。

今年度は附属中学校創立に伴い、学校行事およびＰＴＡ活動も合同で取り組んでまいります。

役員一同、力を合わせて大阪学芸を盛り上げ、充実した学校生活をサポートいたします。

成器会の皆様方におかれましては、今後のさらなるご発展と、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

PTA役員一同

大阪学芸高等学校募集対策部報告

1、平成27年度入試結果

今年2月に実施した入学試験の結果、1次入試と1・5次入試を合わせて540名募集に対して668名の入学者を迎えることができました。特技コース2クラス、選抜特進コース1クラス、特進理数・特進看護コース3クラス、特進コース6クラス、進学コース4クラス、合計16クラスの編成となりました。

また、今年度開校した附属中学校には2クラス、76名の新入生を迎えることができ、順調な開校を迎えました。

昨年度から本校独自の留学制度「OGOP」をスタートさせた1年留学を希望する国際コース（特進・進学）の生徒が45名入学しましたが、留学を通して「使える英語」や「国際感覚」を身につけ、将来世界で活躍してくれることを願っております。

今年度の生徒募集状況は良好だったといえますが、大阪府の公立高等学校の入試制度の変更で今年は公立高校の入試の機会が1回に変更や、（昨年までは前期入試・後期入試）大阪府の中学校内申評価が絶対評価に変更など様々な施策変更により、受験生の学校選択は大変だったと思います。本校では外的要因に左右されることのない、盤石な生徒獲得の基盤は「教育の中身」如何であるという方針を持ち、今年度は学校のＩＣＴ設備の充実や更なる国際教育の充実に力を注ぎ、私ども教職員一同が絶えず研鑽に努め、さらに「教育の中味」を充実させ、「専願で選んでいただける魅力ある学校」作りに努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願い申しあげます。

また、近年の傾向として卒業生もしくは在校生（いずれも中等教育学校を含む）のご子息や姉妹兄弟が本校を志願受験するケースが多く見受けられます。ひとえに卒業生の皆様のご尽力のたまものと推察いたします。今後も卒業生の皆様のご子息、お孫様が受験の折には是非母校をお薦めいただきますようお願いいたします。

2、平成29年度入試について

平成29年度入試より
インターネット出願を導入。

平成29年度入試より
国際コース（特進・進学）を国際コースに変更。

平成28年度4月
大阪学芸高等学校附属中学校が開校しました。

3、平成29年度入試　受験生・保護者向けイベントのお知らせ

高校入試説明会・オープンスクール

第1回　9月25日（日）
第2回　10月23日（日）
第3回　11月6日（日）
第4回　11月20日（日）
第5回　12月4日（日）
ただし第5回は説明会のみでオープンスクールは開催しません。詳しくは本校ホームページでご確認ください。

附属中学入試説明会・プレテスト

第1回　9月25日（日）
第2回　10月23日（日）
第3回　11月6日（日）
第4回　11月20日（日）
第5回　12月4日（日）
いずれも10時00分より本校にて。ただし第1回は説明会のみ第5回はプレテストのみで入試説明会は開催しません。プレテストは要予約・入試説明会はご予約の必要はありません。

平成27年度 大阪学芸高等学校主要大学合格一覧

	大学名	現	浪	計
国公立	筑波大学	0	1	1
	大阪教育大学	3	0	3
	和歌山大学	3	0	3
	鳥取大学	0	1	1
	高知大学	0	1	1
	大分大学	0	1	1
	京都市立芸術大学	1	0	1
	大阪府立大学	1	0	1
	大阪市立大学	1	0	1
	島根県立大学	2	0	2
	高知工科大学	2	0	2
	水産大学校	0	1	1
	合計	13	5	18

	大学名	現	浪	計
関関同立	関西大学	25	3	28
	関西学院大学	16	0	16
	同志社大学	8	2	10
	立命館大学	15	3	18
	合計	64	8	72

	大学名	現	浪	計
4女子大	同志社女子大学	4	0	4
	京都女子大学	4	1	5
	武庫川女子大学	13	1	14
	神戸女学院大学	2	0	2
	合計	23	2	25

	大学名	現	浪	計
産近甲龍	京都産業大学	16	1	17
	近畿大学	59	15	74
	甲南大学	3	1	4
	龍谷大学	23	1	24
	合計	101	18	119

	大学名	現	浪	計
外大	関西外国語大学	26	1	27
	京都外国語大学	15	1	16
	合計	41	2	43

（※実人数）

	大学名	現	浪	計
関東私大	早稲田大学	1	0	1
	中央大学	1	0	1
	法政大学	1	0	1
	東京農業大学	0	1	1
	創価大学	1	1	2
	合計	4	2	6

	大学名	現	浪	計
摂神追桃経工	摂南大学	30	5	35
	神戸学院大学	16	0	16
	追手門学院大学	13	1	14
	桃山学院大学	38	2	40
	大阪経済大学	16	3	19
	大阪工業大学	8	0	8
	合計	121	11	132

平成27年度卒業生 進路状況(進路指導部)

(1)概　況

		大学	短期大学	専門学校・各種学校	就職	予備校・進学準備	その他	計
男子		207	5	12	5	20	1	250
女子		176	31	35	6	9	5	262
合計	人数	383	36	47	11	29	6	512
	全体比	74.8%	7.0%	9.2%	2.1%	5.7%	1.2%	100%
	前年度全体比	64.6%	5.7%	16.1%	3.7%	9.6%	0.3%	100%

(2)合格者数(延合格者数・浪人含)が多い大学

順位	大学	前年度	今年度		現役進学者数
			(のべ人数)	(実人数)	
1	近畿大学	157	157	74	42
2	桃山学院大学	85	88	40	31
3	摂南大学	106	77	35	12
4	関西外国語大学	41	59	27	22
5	関西大学	56	50	28	18
6	龍谷大学	40	39	24	19
7	阪南大学	24	39	19	14
8	立命館大学	10	35	18	8
9	京都産業大学	29	34	17	10
10	関西学院大学	33	30	16	12

(3)合格者数(延合格者数・浪人含)が増加した大学

順位	大学	前年度	今年度		増加数
			(のべ人数)	(実人数)	
1	立命館大学	10	35	18	25
2	神戸学院大学	7	26	16	19
3	関西外国語大学	41	59	27	18
4	大阪経済法科大学	1	17	4	16
5	阪南大学	24	39	19	15
6	同志社大学	7	19	10	12
7	京都外国語大学	14	22	16	8
7	神戸女子大学	2	10	4	8
9	帝塚山大学	11	18	8	7
10	甲南女子大学	8	14	8	6

大阪学芸中等教育学校だより

大阪学芸中等教育学校　校　長

柴田俊次

本年4月1日付けで、大阪学芸中等教育学校の校長を務めさせていただくことになりました柴田俊次と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は昨年度創立20周年の節目を迎えました。これもひとえに、同窓会の皆様よりのご支援のたまものと厚くお礼申しあげます。

本校は、国公立大学や有名私立大学など難関とされる大学への現役合格を目標に6年一貫教育を進めてまいりました。27年度の大学入試結果は別表の通りですが、27名（昨年度16名）が国公立大学の現役合格を果たしてくれました。

一方、中学入試のほうですが、年々小学6年生の児童数が減っていく厳しい状況になっています。28年度入試は附属中学校開校に伴い、進学校としてグレードアップを図りました。コースをEⅡコース・Eーコースとし、2クラス80名募集をし、結果21期生として63名の新入生が入学しました。募集面では、厳しい状況は変わりませんが、六年一貫教育の特性を活かし、難関大学へ現役で合格できる進学校として、教育内容の充実に努めてまいります。カリキュラムは6年トータルで設定しています。高校入試がないというメリットを活かし、中学生の段階から大学入試、あるいはその先の職業を意識させるキャリア教育を実践しています。4年生（高1）から文理選択をしますので、中学段階から準備を進めます。

近年、大学入試を取り巻く環境は、目まぐるしく変わっています。現在の中学2年生からは、センター試験に変わる新たな大学入学選抜試験（名称は大学入学希望者学力評価テスト）となる予定です。本校では、日々の授業内容の工夫・改善に力を注ぐのはもちろんのこと、総合的な学習の時間「学芸ESD」や学問探求団「RYS（論より証拠）」などのプログラムを実践しています。平素の授業で行う「学芸ESD」では、1年の環境教育、2年の世界遺産学習・職業紹介、3年の論文指導、4年のディベート、5年の探求ゼミなどを実施しています。「RYS」では、企業や大学などを訪問し、さまざまな取り組みを行っています。これらの活動で身に付く表現力や思考力、主体性や協働性は大学入試と密接に関わっています。そして、こういう学力が小論文や面接などに活かされると考えています。

このように授業のみならずさまざまな取り組みを通じて、6年間の中で自分の将来を見つめ、進路目標を実現していく教育を今後も進めてまいります。

最後になりますが、同窓会の益々のご発展を祈念いたしますとともに、今後とも大阪学芸中等教育学校に温かいご支援を賜りますようお願い申しあげます。

大阪学芸中等教育学校報告

今春の大学入試結果をご報告いたします。卒業生（15期生）129名のうち、神戸大を含む27名が現役で国公立大学に合格しました。また私立大医学部にも合格するなど、本当によく頑張ってくれたと思います。大学入試結果を表にしましたのでご覧ください。

平成27年度 大阪学芸中等教育学校 大学入試結果（抜粋）

卒業生徒数　129名　　平成28年3月28日現在

国公立大学

大　学	学　部	人数
神戸大学	理	1
大阪市立大学	商	1
大阪教育大学	教育	3
奈良教育大	教育	2
奈良女子大学	理	1
奈良県立大学	地域創造	2
京都府立大学	生命環境	1
和歌山大学	システム工	3
富山大学	薬	1
徳島大学	薬	1
北見工業大	工	1
宮城大学	食産業	1
石川県立看護大	看護	1
広島大学	総合科	1
広島市立大学	国際	1
広島市立大学	情報科	1
島根県立大学	総合政策	1
高知大学	理	1
山口大学	工	1
宮崎県立看護大学	看護	1
宮崎公立大学	人文	1
計		27

主な私立大学

大　学	人数
兵庫医科大学（医・医）	1
同志社大学	3
立命館大学	8
関西大学	4
関西学院大学	2
京都産業大学	3
近畿大学	25
甲南大学	1
龍谷大学	3
畿央大学	8
摂南大学	10
計	68

女子サッカー部　ご紹介

２０１３年に創部された女子サッカー部は今年で４年目を迎えます。

今現在、部員数は39名で活動しています。活動場所はセレッソの南津守グラウンドを使用させていただき、練習時間は平日16時から18時の２時間、休日は大学生やクラブチーム、男子中学生などと練習試合を行いチームのレベルアップに励んでいます。また、監督として副島博志さんに来ていただき指導をしてもらっています。

これまでの成績としては、創部１年目に大阪新人戦にて準優勝、２年目、３年目には大阪大会ではベスト４に定着して入れるようになってきました。関西高校リーグでは３部からスタートしたものの毎年順調に勝ち進み昨年度１部で優勝することが出来ました。ここ１番の成績としては、大阪春季大会兼インターハイ予選において大阪で優勝することができ、近畿大会への切符を得ることが出来ました。今年度の目標としていた「全国大会出場」に一歩近づくことが出来ました。近畿大会は６月18日から３日間行われます。近畿大会においてもいい成績を残し全国大会の切符をつかみ取りたいです。

私たち女子サッカー部は、オンザピッチの面で、毎日の練習において技術を磨きレベルアップすることに励み、オフザピッチの面ではサッカーするにあたり大切な体の補強や、自己管理、ケアなど疎かにせず食事や休養にも気配りを心掛けています。

そして、日常生活において常に気づき、考えて動く＝考動を心掛け日々過ごしています。

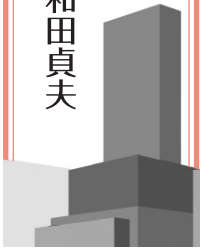
試合に出場できるのは11人ですが、チーム全員で支え合い、チーム一丸となって今後も良い成績報告ができるよう頑張ります。

今後とも女子サッカー部の応援をよろしくお願いします。

女子サッカー部の皆さま

「学園関係物故者慰霊碑」建立10周年に当り

名誉会長　和田貞夫



10年を振り帰って見れば、平成15年度の同窓会総会で、学園創立百周年記念事業の一つとして学園側で成器商業学校発祥地に記念碑を建立されましたので、同窓会としても百周年記念事業として何かをと検討の結果「学園関係者物故者慰霊碑」の建立案が持ち上がり、同窓会の記念事業としては相応しい案だということで決定され、役員会で早々に基金集めを始め準備に取り組みました。

場所の選定は世界遺産に指定された高野山に目をつけ、私たちの大先輩で過去には金剛峰寺大管長に就任された森　寛紹（二部七期生）師の孫にあたる森　寛勝師が院主をされている普賢院のご協力を戴くことにして慰霊碑の建立地のあっせんをして頂き、４年目の平成18年10月29日（日）に慰霊碑が建立致しました。

同窓会、学園側、物故者のご遺族参加のもと除幕式と開眼法要を滞りなく取り行うことが出来ました。

平成28年の今日までご協力を頂きました皆様方に心から感謝を申し上げるとともに、３万名を越える卒業生、２千有余名の教職員を始め、学校法人関係者、ＰＴＡ各位の物故者の霊を慰める碑が建立されたことには意義のあるものであります。

世界遺産の指定を受けた高野山を訪ねる時は是非慰霊碑に立ち寄って戴くようお願い申し上げます。

慰霊碑を清掃される和田名誉会長

慶事

オール阪神
昭和50年卒　高田昭徳

芸術選奨文部科学大臣賞を受賞
上方漫才大賞
史上初四回目の受賞

卒業生の皆様、在校生の皆様、オール阪神です。

さて、私は誇り高き成器商業を卒業してからはや40年を過ぎました。

今は学芸と名前が変わり、学校のレベルも上がり、私が、人から高校は、出身校はと聞かれると、学芸ですと云うと、ダメです、成器商業と云ってくださいという指摘される位、やはりレベルが上がったのか、私は成器の方がやはり愛着がありますが、我々の時代は高校を卒業すれば、すぐに家業、どこかに就職するという人達がほとんどでした。

なんせ勉強がきらいで、卒業したと思ったら、なんかバラ色の人生が待っている感じでしたが、私の場合は、もう中学生の頃から吉本へ行くのが夢で、芸能界を目指して、高2の時に吉本からスカウトされ、卒業と同時に吉本へ行くと、口約束ですが決まっていました。

とにかく私は留年する事なく、卒業するのが目標。しかし英語、国語、数学、もうちんぷんかんぷん、まるで先生が教壇で話している事が私にとっては、まるで英語のように、なにかわからない状態。それでも担任の先生が、学校だけはマジメにこいと！

その言葉を信じて、たぶん3年間一日も休む事なく、遅刻もなく、無事吉本に入社というか、入れてもらうことが出来ました。。でも給料はないので、いけないのですが高校3年間で、酒屋、電気屋とアルバイトで100万のお金を貯めて吉本へ。なぜなら、アルバイトして、芸人をしている人達が多かったんですが、どうしてもアルバイトは夜の店になり、朝寝坊して、おこられ、やめたり、そんな事のないように私たちはアルバイトしないで行ける様に、100万円を切り崩して、やって来ました。

たまに同窓会などすると、おもしろいですな、生徒側も60才近くなると、頭も毛もうすく、そこへ先生が一緒にいても誰が生徒か先生かわからない様に。

でも話は変わりますが、みなさんいろいろ仕事をしてきたと思います。私は今年でこの道40年一番自分に合う仕事を一番はじめに、みつけることが出来たのかなと思います。学生時代なんの表彰もされた事がない私ですが、先日国の方から文部科学大臣賞という素晴らしい賞を頂いたり。初め国から表彰されると聞いた時、モンドセレクション金賞かなと思いました。まわりからあれはスイーツに与えられる賞やと大笑い。

つい先日も、上方漫才大賞、史上初の4回目を頂き、ありがたい事です。

みなさんも、自分の選んだ道を、真面目にやりぬいて下さい。

現職教職員の近況報告

●山田　泰男　先生（国語科・図書館長）

2016年3月31日をもちまして31年間慣れ親しんだ本校で定年を迎えました。これまでご支援ご指導をいただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。4月からは再任用教員として奉職することになりました。

●高田　義之　先生（国語科・大阪学芸高校附属中学校教頭）

附属中学校設立のため、昨年度中等教育学校から異動してまいりました。今年度は「附属中1期生」76名を迎え、学年団の先生方と一致団結し、明るく、前向きに、何事にも積極的に取り組む、そして何より人間関係を大切にする生徒を育てるべく、奮闘中です！ご声援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

●兼松　秀幸　先生（社会科・生活指導部長）

昨年から高等学校に中等教育学校から戻ってきて2年目となります。慣れない分掌で日々悩みながらも高等の生徒と語らい、受験指導ができる喜びを感じている今日この頃です。また、卒業生の皆様におかれましては、顔を見せに来校していただければ嬉しく思っています。

●井上　孝典　先生（数学科・教務・数学科主任・2年4組　特進理数コース担任）

変わらず、声は出ています。

●伊藤　拓也　先生（数学科・教務・1年4組　特進理数（G）コース担任）

私は今年度初担任で、1年生の担任をしています。私自身まだ教師になって3年目ですので、生徒と共に学んでいる毎日です。そういう意味で、毎日が楽しく新鮮であっという間に過ぎていきます。とても充実していると感じる今日この頃です。

継続は力なり ―絵と私―

成器会顧問
猪瀬　正雄

71歳になったこんにちまで、いろんなことを長年続けてきたお蔭で、大抵のことが世の中とつながり「継続は力」を実感している日々です。今回は絵にまつわることを書きます。

Ⅰ　幼少年期

絵は3歳くらいからよく描いていた。両祖父から手ほどきを受け、小学1年生から6年間は絵画教室に毎週土曜日に通った。母は様々なコンクールや展覧会に連れていってくれた。大人びた絵を描いていたので、「これ一人で描いたの？」と度々疑われた。5年生のとき、風邪のため絵画教室を休み、翌日曜日に行き、いつものように「こんにちは」とアトリエを開けたら裸のモデルさんが座っていた。びっくりしてドアをバタンと閉めて帰ろうと思っていたら、先生が「おーい、入って来いよ。」と呼ぶので、おずおずと入っていくと、その日は大人向けの教室だった。先生が椅子と机を出してザラ紙の束と黒いクレパス1本くれて「これはクロッキーといって、5分でポーズを変えるから、その間に描くんだ。」と教えてくれた。顔から描いていると先生が廻って来て、絵を観るなり「そんな描き方してたら顔だけで終わってしまう。全体を素早く描くんだ。こういう風に。」と真剣に青いパステルで一気に形を描いて見せてくれた。本気の気迫が伝わってきて、今でも鮮明に覚えている。帰り際に先生が「来月から月末は日曜日に来い。」と言った。以来月に一度は大人のクラスに入れてくれた。絵画歴は「昔なんとか、今、ただの人」を地で行くようで、小学3年生のときのコンクールでは「中学生の部」で2等に、4年生のときは東京都の「一日芸大生」という催しで、東京芸大の昔の建物の正面玄関を描いて、東京都で2等になり新聞に載った。ユトリロが好きで、自分もいつかパリに行って絵を描くんだと考えていた。絵画教室では、デッサン、水彩画、油絵、筆の洗い方、パレットの手入れに至るまで一通り習った。小学校では美術の先生が、卒業文集の表紙の絵を描かせてくれたり、卒業式のときは肩を抱いて「おまえなぁ、絶対東京芸大に行けよ。」と励ましてくれた。ところが中学に上がると絵画教室に通わなくなった。野球部に入ったが、病気や怪我でまともにできなかった。絵はたまに描いていたが、当然腕は落ちて行った。中1の夏休みの絵の宿題として小5の時の油絵を出したら、美術の教師に褒められて、その絵は卒業するまで校長室に飾られていた。その頃、美術の授業では教師によく「おまえ、あんなにいい絵を描けるのにこれはなんだ。」と怒られた。「いやあれは5年生のときの絵でして。」とは言えませんでした。

京都・仁和寺　御室桜のスケッチ

スケッチ　大阪城

Ⅱ　その後 ―切り絵、スケッチ旅行、個展、美術の会―

高3のとき油絵を描いたが小5のときの絵の方が断然よかった。筆運びの勢いがまったく落ちていることに気が付いた。大人になるにつれ「上手に描こう」と作為的になり、線の勢いが落ちていた。絵に行き詰っていた頃、切り絵に出会った。切り絵の下絵は写実的で、工芸的な作業も好きだから向いてそうだと直感した。堺市の美術交流展に出品して数年後、切り絵画家の前田尋（ひろし）さんから「個展をしたら？」と言われた。「いきなり画廊では」というと、カフェでやったらということで展示させてもらった。その頃大阪の指導者の故加藤義明さんとも知り合った。カフェのマスターが「絵を買いたいというお客さんがいるけど？」というので、手放す前に友人知己の多い東京で個展をと画廊を探していると、中学時代の同級生の実家が銀座で画廊を経営していて破格の賃料で借りることができた。先ずオーナーが1点購入してくれて、期間中、大勢の人たちが来場して絵は幸いによく売れた。切り絵の原画のため先ずは国内各地にスケッチ旅行をした。その後、兄が滞在していたロンドン、パリ、ミラノを拠点としてスケッチ旅行に行った。個人旅行なので、英語以外にスペイン語やドイツ語を勉強してから出かけていった。40歳過ぎてパリの街角を描いているとき、漸く夢がかなったと一人感慨に耽っていた。絵のお蔭で国内外で沢山の楽しい出会いがある。海外からの帰路では、機中でワインをお替りしCAとの話を楽しみながら絵を仕上げていくのが至福の時だ。沢山スケッチを描いているうちに線に勢いが出てスケッチも売れるようになった。東京や大阪、和歌山等で個展を重ね、一昨年は原宿、成城学園などでやって通算28回を数えた。毎年、いくつかの展覧会にも出品している。お蔭で、地元の「泉北の美術を育てる会」（5部門で会員数165名、創立35年）では副会長、展覧会委員長としてお世話させてもらっている。大阪きりえ連絡会にも所属している。切り絵の講習会、小中学校で絵手紙の指導や、堺市文化芸術審議委員になったり、イベントでは紙切り芸も役だっている。

切り絵　コペンハーゲンの港町　猪瀬正雄作

活動報告

●平成27年4月18日(土)午後2時00分～
於…同窓会室(大阪学芸中等教育学校前)
第1回同窓会役員・委員会　出席者12名
「報告事項」
(1)定期総会日程変更について
「審議事項」
(1)定期総会の日程表について

●平成27年4月25日(土)午後2時30分～
於…同窓会室(大阪学芸中等教育学校前)
第2回同窓会役員・委員会　出席者15名
「報告事項」
(1)会報20号原稿提出状況
(2)入学式の件
「審議事項」
(1)会報に関する件
(2)平成27年度定期総会資料作成準備
(3)高野山案内状発送準備

●平成27年5月16日(土)午後2時30分～
於…同窓会室(大阪学芸中等教育学校前)
第3回同窓会役員・委員会　出席者13名
「審議事項」
(1)会報校正の件
(2)総会資料の件

●平成27年5月23日(土)午後2時00分～
於…道頓堀ホテル(なんば)
第4回同窓会役員・委員会　出席者13名
「審議事項」
(1)会報20号の最終校正

●平成27年5月23日(土)午後4時00分～
於…道頓堀ホテル(なんば)
定期総会
「審議事項」
(1)平成26年度活動報告・決算報告
(2)平成27年度活動計画案・予算案
午後5時00分～
懇親会　出席者66名

●平成27年6月27日(土)午後2時30分～
於…同窓会室(大阪学芸中等教育学校前)
第5回同窓会役員・委員会　出席者14名
「審議事項」
(1)新事務所を見学・レイアウトの検討
(2)定期総会及び会報20号発行の反省会

●平成27年8月1日(土)～2日(日)
高野山普賢院一泊と慰霊碑参拝と
ホテル野迫川温泉の旅
参加者17名

●平成27年8月8日(土)午後1時30分～
於…同窓会室(大阪学芸中等教育学校前)
第6回同窓会役員・委員会　出席者14名
「審議事項」
(1)新事務所のレイアウト確認
(2)新事務所への引っ越し作業

●平成27年10月3日(土)午後2時30分～
於…同窓会室(アソシエ1号館)
第7回同窓会役員・委員会　出席者13名
「審議事項」
(1)秋季懇親会について
(2)第10回吹奏楽部OB会吹奏楽団定
期演奏会の案内について

●平成27年11月7日(土)午後2時30分～
於…同窓会室(アソシエ1号館)
第8回同窓会役員・委員会　出席者8名
「審議事項」
(1)秋季懇親会の最終確認

●平成27年11月14日(土)午後5時00分～
於…ニューミュンヘン南大使館(なんば)
秋季懇親会　出席者64名

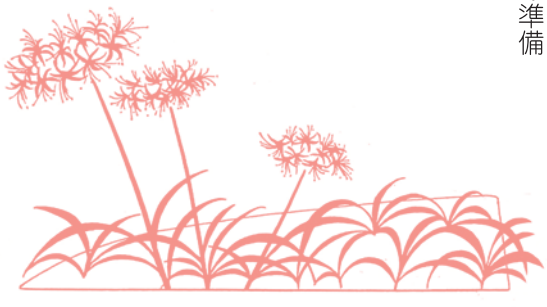
●平成28年1月30日(土)午後2時30分～
於…同窓会室(アソシエ1号館)
第9回同窓会役員・委員会　出席者11名
「審議事項」
(1)卒業式予行・同窓会入会式について
(2)卒業式について
(3)新年度の体制と事業計画の検討

●平成28年1月30日(土)午後5時00分～
於…樽一
新年互礼会　出席者15名

●平成28年2月19日(金)午前11時30分～
於…本館体育館
卒業式予行　同窓会員入会式(役員委
嘱状授与式)
役員4名出席・入会者512名

●平成28年2月22日(月)午前10時00分～
於…本館体育館
卒業式　役員出席・会長挨拶

●平成28年3月19日(土)午後2時30分～
於…同窓会室(アソシエ1号館)
第10回同窓会役員・委員会　出席者11名
「報告事項」
(1)委嘱状授与及び同窓会入会式の件
(2)卒業証書授与式の件
「審議事項」
(1)平成28年度行事予定の件
(2)平成28年度定期総会と会報21号発
行の準備



行事報告

平成28年 定期総会・懇親会

副会長　上野　寅次郎

総会

平成28年6月11日（土）午後4時より道頓堀ホテルに於いて、定期総会を開催いたしました。

司会の西野仁彦副会長の開会宣言で始まりました。

議案審議に先立ち、議長には竹田喜久常任幹事代表、副議長には上野寅次郎副会長が選出され議案審議に入りました。

議案

一、平成27年度活動報告　副会長　西野仁彦

二、平成27年度決算報告　会計　氏田隆夫

三、平成27年度監査報告　会計監査　大橋秀志

四、平成28年度行事計画案　副会長　田中敏文

五、平成28年度予算案　会計　氏田隆夫

六、役員改選

議長団に一任を賜り左記の通り改選することになりました。

名誉会長　和田貞夫（再）
名誉会長　仲西　晃（新）
会長　米田耕作（新）
会計監事　大橋秀志（再）
会計監事　川原　実（新）

審議の結果、役員改選を含め全ての議案は可決承認されました。

以上で総会は終了しました。

懇親会

同日午後5時より同場所に於いて63名が参加され、川原　実会計監事に懇親会の司会をお願いし、開催されました。始めに物故者に黙祷から始まり、仲西　晃名誉会長の挨拶で和田名誉会長から会長になることを進められ、それを承諾し6年間が経ちました。財政面も改善され苦しい時期を乗り越え、この度は学園からのご好意により広い新同窓会室を設けることもでき、この機会に米田耕作君に後を任すと挨拶で締めくくりました。

引き続き米田新会長より就任の挨拶があり、今後も同窓会を盛り上げるための抱負を述べられました。話の中で昨年夏に占い師に良いことがあると云われていて、そのさなか会長就任の話があり喜んでお引き受けすることに致しましたと挨拶がありました。

来賓の岡本利雄理事長よりご挨拶があり、仲西　晃会長就任中は学校行事には全て参加をしてもらい、感謝の言葉を述べられ学園はいつも活性化が必要で今年も多くの入学生を迎えることが出来ましたと挨拶されました。

学事報告は佐藤精治校長より男子中心の学校から女子生徒の方が多くなりましたと報告がありました。

クラブ活動の状況は女子サッカー部は大阪府大会で優勝し全国大会に出場予定。空手道部は全8種目中7種目に出場、4種目で入賞しました。女子バレーボール部ではあと1勝で近畿大会出場予定です。最後に栗岡綾子ＰＴＡ会長の挨拶を賜りました。

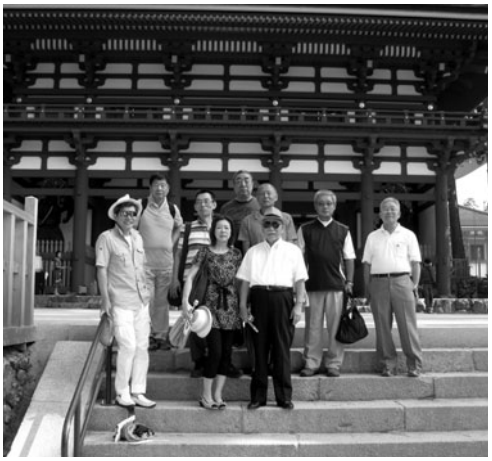
懇親会は川岸春夫元理事長の乾杯の音頭で開宴し、ビンゴゲームで楽しく盛り上がり和気藹々と時間の経つのを忘れるくらいでした。その後、全員で校歌合唱、藤井昭三顧問の閉宴の挨拶で終宴しました。

平成28年　総会・懇親会出席者

高野山普賢院一泊と ホテル野迫川温泉旅行

副会長　西野　仁彦

ホテル野迫川温泉にて



新しく建立された中門前にて

今年も例年通り、平成27年8月1日(土)～2日(日)と高野山普賢院一泊と、慰霊碑参拝とホテル野迫川温泉の旅がとり行われました。

いつもなら暑い暑い大阪から高野山に着きますと、その涼しさにホッとするところなのですが、地球温暖化の影響か、少し暑いなーという思いでした。また今年は高野山開創1200年の年に当たるとのこともあってか、外国人旅行者がいつもの年よりも多く目に付きました。

夕食時の会長挨拶では「慰霊碑管理基金に多くの方々にご協力を頂き、慰霊碑の高額寄付者ご芳名標石に10名もの方々のご芳名を追刻させていただきました」とお礼を申されました。

翌朝は例年通り6時半から勤行、奥の院へ行くまでの間に本年は根本大塔の参拝並びに新しく建立された中門を拝観、中門には四天王四体が祭られていて、南側の二体は古くからのものでしたが、北側の二体は新しく建立されたもので、なぜか一体の胸には油ぜみ、又一体の胸にはヤンマの彫刻がとまっており不思議に思いました。又中門の少し西側の六角経蔵の建物には六本の腕木が出ており、それを六人で押すと建物が回る様に出来ていて、お寺でも楽しい仕掛けがあるんだなと思いました。

例年通り、バスで奥の院へ参拝し、早朝から来られた方々と慰霊碑前にて合流、普賢院僧侶の読経の中、焼香礼拝、同窓会先輩方の志に感謝すると共に学園発展を祈願しました。

迎えのバスにて野迫川温泉へ、温泉につかり、あまごづくしの昼食に舌鼓を打ち、ゆっくりと時間の経過に命の洗濯が出来た様な気が致しました。

次回は平成28年8月6日(土)～7日(日)を予定しております。より多くの方々のご参加をお待ちしております。

高野山参詣旅行参加者

平成27年度　秋季懇親会開催

副会長　甘佐　勝

平成27年11月14日（土）午後5時よりニューミュンヘン南大使館において64名出席のもと、秋季懇親会が開催されました。

ご来賓として学園から岡本利雄理事長、佐藤精治学校長、理事の先生、教職員OBの先生方、PTA会長大地喜一郎様のご出席をいただきました。

司会西野副会長の開会宣言に始まり、物故者への黙祷、仲西会長の挨拶に続き、学園を代表して岡本理事長の挨拶、佐藤学校長からの学事報告に同窓生も大いに関心を寄せていました。その後、大地喜一郎PTA会長の挨拶後、直ちに記念撮影を終え、司会を米田副会長にバトンタッチされ、安岡幸次郎顧問の乾杯の音頭で宴会へ。各テーブルも学生時代の話に笑顔がはじけ、宴も盛りあがるなか、本年度活躍した柔道部、空手道部、吹奏楽部に仲西会長より奨励賞が贈呈されました。

恒例のビンゴゲームを楽しみ、時の経つのも忘れ、和やかなひとときも終わりに近づき、校歌斉唱でしめくくりました。

最後は井関顧問の閉会の挨拶で無事懇親会も終了致しました。

北原先生中心に吹奏楽部OG・OB会の皆様

クラブ活動奨励金贈呈（柔道部・吹奏楽部・空手道部）

秋季懇親会　出席者

同窓会入会式

前副会長　米田耕作

平成28年2月19日（金）早春の穏やかな日、大阪学芸高校の体育館にて、第111回の卒業式前々日に、同窓会の入会式を学校のご協力の元で開かれました。

今年の卒業式は14クラスで512名も居り、もちろん全員が同窓会の新会員になります。この日は同窓会から4名（上野、甘佐、神藤、米田）が参加し、22日（月）の卒業式に参列する仲西会長から私に代行を命じられました。今日は卒業式の予行演習で、それが終わってからの入会式となり、私たち4名が体育館に入った時は正にその延長でピリッとした緊張した状態でした。

司会の先生の案内で壇上に登り、次に新副幹事長の武知菜穂さんが私に対峙する様に上がりました。14クラスの各幹事より長として選出された彼女の両手は微かに揺れたが、しっかりとつかむ一枚は確かなものでした。

彼女が降壇された時に初めて入会者達を見渡し、瞬時乍ら私達の時代のことが思い出されました。新会員の半数が女子で、男子も誰一人も丸刈り頭が居ません。その上この人数、すっかり雰囲気が異なり、ムンムンする若きエネルギーに圧倒されます。

司会者から挨拶をと進められ、平静を装い淡々と言葉を並べました。しかと覚えている事は「卒業後の皆さんの殆どが大学に進学され、勉強に勤しみやがて社会人となり、そして結婚され、子育てをし、勿論、結婚されない方もおられますが、落ち着いたときに学校や恩師の方々そして今臨席する友の顔を無性に懐かしむ心が沸き上がります。その時はぜひ同窓会活動に参加し、恩師や友と大いに昔話に華を咲かせ、今以上に盛り上げて下さい」です。後は何をどう話したのか全く記憶にありませんが、私にとっては長い10分間でした。仲西会長のお話は実に良くまとまり素晴らしいものですが、私のそれは中身の伴わないものでした。新会員達は迷スピーチに対し、身じろぎもせず最後迄良く耐えてくれました。

22日の本番となる卒業式はこの調子で行くと、立派なものになる事間違いなしです。人の話を良く聞く事にこそ学芸の心髄であり真随なのでしょう。三年間で良く修得され、先達の評価人もきっと喜んでおられ、数年後にはこの中からきっと立派な著名人がたくさん現れる事でしょう。そしてこの同窓会にも優秀な逸材の人達も集まる事を期待しております。最後にこの優秀なる新会員を育てて頂きました先生方本当に有難うございました。

同窓会入会式の様子

卒業生の近況報告

●三村正始（昭和16年卒）
病気療養中。

●金谷一朗（昭和16年卒）
92才高齢のため失礼します。

●藤田桂哉（昭和17年卒）
高齢のため欠席。

●新　宗幸（昭和18年卒）
いつも乍ら御苦労様です。

●美馬徳次（昭和19年卒）
高齢の為失礼申し上げます。

●山田能生（昭和19年卒）
腰椎損傷によるリハビリ中の為欠席します。

●鴨志田長只（昭和20年卒）
病後のため欠席します。
4月20日手術により胆のう及び胃ガンの一部切除を受けました。

●中島日出男（昭和21年卒）
左足が少し不自由になり現在リハビリ中です。今回は欠席します。

●上田　健（昭和23年卒）
高齢につき欠席します。

●高田良造（昭和23年卒）
小生、体調不良。現在は自宅にて療養致しております。

●岡崎義麿（昭和24年卒）
歩行困難の為、出る事が出来ませんので欠席します。

●森居保行（昭和24年卒）
元気でおります。今年で85才になります。

●北本喜一（昭和25年卒）
体調不良の為勝手します。

●井原靖二（昭和25年卒）
体調不良の為欠席します。

●吉田秀勝（昭和25年卒）
焼失今宮の学舎、長居の木造仮校舎での三部授業懐かしく走馬灯のごとく頭の中を廻ります。

●森田弘光（昭和26年卒）
足、腰が悪い為欠席します。

●丸山光次（昭和28年卒）
通院中に付申し訳有りません。

●朝田隆義（昭和30年卒）
誠に申し訳ございません。

●楯川敏雄（昭和31年卒）
予定がつまっており、出席出来ません。

●石井保夫（昭和31年卒）
からだが少し悪いので欠席します。

●林　建次（昭和34年卒）
同窓会親睦ゴルフ開催しませんか。6～7人で年4回位開催してますが、よろしく。

●米田　孝（昭和34年卒）
今年3月に後期高齢者（名称が気に入りません）の仲間入りしました。

●漣　良介（昭和34年卒）
予定が有り申し訳有りません。

●岩坪　勝（昭和34年卒）
広島市の原爆公園の所で、学徒動員で亡くなった中高生の学校の中に「成器中」の名が刻まれていた碑があったのに感激した（豊島区在住）。

●内海春樹（昭和36年卒）
定年退職後始めた金剛山登拝13年で2500回達成しました。

●平野正治（昭和36年卒）
当日は仕事の関係で出席できません。

●安里昌弘（昭和36年卒）
体調不良、ただいま休養中。

●菊池耕作（昭和36年卒）
加齢に伴い、年々体力と気力の衰えを感じておりますが、日々運動（散歩等）に心掛けて健康管理に留意していきたいと思っております。

●山田修三（昭和36年卒）
今年は参加を楽しみにしていましたが風邪が治らず欠席します。皆様も季節の変わり目で注意ください。

●中西徳昭（昭和37年卒）
健康第一で頑張っております。

●大迫俊郎（昭和37年卒）
72才になりましたが、いまだサラリーマンです。頑張ります。岡山県より。

●稲山　修（昭和39年卒）
当日は会社出勤日になっています。古稀も過ぎましたがまだ現役です。

●北橋利造（昭和39年卒）
変わりなく元気で毎日過ごしています。

●塚本勝紀（昭和39年卒）
当日私用のため欠席致します。
先日も河南町グラウンドへ野球の応援に行きました。負けました。

●滝澤勝利（昭和39年卒）
病院又病院です。ガンバリマス。

●鎌苅富雄（昭和39年卒）
当日は地元自治会行事のため欠席。

●西川弘史（昭和41年卒）
昨年8月21日、高野山開創1200年、境内各所を巡り、学校の慰霊碑に参拝いたしました。

●奥原廣行（昭和41年卒）
体調不良の為。

●井上佐治朗（昭和42年卒）
糖尿病。

●文野幹雄（昭和43年卒）
昨年会社を退職して、元気に暮らしています。

●中川善夫（昭和44年卒）
同期バレーボール部メンバーの方左記迄Eメールください。
Email:dmnq072@hera.eonet.ne.jp

●田浦龍次（昭和45年卒）
希望退職に応じて、平成28年3月末に46年間のサラリーマン生活を一旦卒業しました。

●前田雄二（昭和45年卒）
歌を作って楽しんでいます。

●石井　茂（昭和46年卒）
63歳になりましたが、キャリアスタッフで頑張っています。

●倉山富夫（昭和46年卒）
仕事が忙しく出席出来ませんが毎日元気に頑張っています。

●寺田俊三（昭和48年卒）
初孫が誕生、成長を楽しんでいます。

●丸山勝弘（昭和49年卒）
約10年前に大丸百貨店を定年退職（早期退職）し、現在は国際興業タクシーの乗務員で頑張っています。息子が学芸中等教育学校3年生で頑張っています。

●松村重一（昭和50年卒）
仕事の為欠席させていただきます。

●上田基晴（昭和50年卒）
元気でやっています。遠方でなかなか参加できません。

●北坂長央（昭和55年卒）
元気にしています。私用（仕事）のため欠席します。

●北　勝喜（昭和55年卒）
毎日リハビリに励んでいます。

●矢野雄弘（昭和56年卒）
変わらずハウスクリーニング、一般家庭の雑務サービスの業務を行っています。
4月より東京・土建一般労働組合練馬支部の執行委員に指名されました。

●三雲謙一（昭和57年卒）
シルバー仲間30人ゴルフコンペ年4回。
仕事は二足のワラジで頑張っています。

●篠崎秀夫（昭和57年卒）
娘が大阪学芸中を目指して塾にかよい頑張っています。

●大条和雄（林家うさぎ・昭和60年卒）
繁昌亭出演中の為出席できません。盛会をお祈り申し上げます。

●万戸貴之（平成1年卒）
元気でやっています。

●三原和信（平成3年卒）
元気です。毎回6月は欠席になり申し訳ありません（仕事の為）。秋（11月）は出席予定です。

●葛本光孝（平成4年卒）
仕事の都合で欠席します。

●上田勝真（平成15年卒）
家業を継いで8年、昨年には息子にも恵まれました。

●山本勝久（平成17年卒）
現在、府立高校で勤務しています。

教職員OB・OG近況報告

●藤本恭作先生
衰えを感じるようになり弱っています。再度出直しを計りさまざまな会に参加できるように思っています。

●西村貴博先生
県立海南高校で6年目、和歌山県で17年目となりました。

●渋谷和彦先生
すっかり老化して出にくくなりました。

●中路　悟先生
20代の若きころを思い出します。

●松田尚一先生
毎日元気でやっています。

●鈴木克爾先生
卒業生と思わぬ所で会います。元気にしているようで、元気づけられます。

●立山　清先生
体調不良で欠席します。

●和田國昭先生
日々充実元気に楽しくやっています。「キョウヨウ」と「キョウイク」は重要です。

●久米藤馬先生
会の発展を祈ってます。

●竹谷和夫先生
なにかを一生懸命やることが老化を遅らせる。

●前川啓治先生
バスケのOB方々元気でやっていますか?

●公原博之先生
昨年10月に税理士として独立しました。

●谷口　隆先生
妻が亡くなり3年間は喪に服す期間です。

●池田喜久美先生
畑仕事で健康を維持し、イチゴが大豊作でジャム造りしています。

●北原祥弘先生
学芸高校の旧教職員の皆様、卒業生の皆様、これからもお元気でご活躍しください。

●原田敬三先生
元気でやっています。

●猪瀬正雄先生
残念乍ら欠席します。日常を3つの言葉で表す。「器用・貧乏・暇無し」です。

●高橋峰和先生
体力向上と読書力アップに努めています。

昭和46年卒業生同窓会に参加しませんか

昭和46年卒旧3年C組
川原　実

私は昭和46年卒旧3年C組の川原と申します。

平成27年5月23日(土)の午後12時から3年振りの第4回久米学級藤馬会傘寿を祝うとしてクラス会を開催しました。

今までの経緯

第1回　平成22年10月31日
出席者11名
(大阪学芸校舎見学等)

第2回　平成23年9月11日
出席者12名
(ホテルサンルート堺にて)

第3回　平成24年7月28日
出席者8名
(道頓堀ホテル喜寿　還暦祝う)

第4回　平成27年5月23日
写真の通りです
(道頓堀ホテル　傘寿を祝う)

平成25年、26年と2年間同窓会を中断しましたところ、恩師久米先生及び同期からの厳しいプレッシャーにより平成27年より同窓会を復活しております。

卒業時3年C組の学生数は43名でしたが、現在連絡をとれる方は18名のみとなっています。この会報見られた方は是非ご連絡して下さい。

これから同窓会等を考えておられる方に少しでもご参考になればと思い、経験談をお話させていただきます。

初めての同窓会開催までの苦労話として、今は個人情報保護法があり、住所等の確認が難しいですが、昔の名簿がありましたのでそれを元に宮崎君、奥野君等手分けして一件一件電話をしました。

電話の応対で今の生活が垣間見れるようでした。すぐに分かっていただける方、長い月日があったため一瞬沈黙が漂う方、ご結婚されているのか。お子様がおられるのか。独身なのか。今は幸福に暮らしておられるのか、相手の立場になって大変気を使って電話をした記憶があります。

一番寂しかったのはご逝去されたとの奥さんの電話口です。返す言葉もありませんでした。

もう少し早く同窓会を開催しておればと悔しさが込みあがってきました。

容姿が多少変わっても同窓会は会社でのしがらみや上下関係もなく、空白期間を一瞬にして、青春の心に戻してくれます。さすが一緒に勉学した?　同期の桜です。

体力、能力、気力の続く限り同窓生が一人になるまで続けたいと思っています。

次回開催予定

久米先生にお会いしたい方
平成28年8月21日(日)12時キックオフ
場所　道頓堀ホテル

3年C組だけでなく久米先生に関わりのある昭和46年卒業生は是非参加して下さい。ビンゴゲーム等楽しい企画を考えております。

詳細希望者はクラス名、氏名、連絡先等明記の上FAX06-6452-1057川原迄ご連絡して頂けましたら、追って案内状をご送付致します。

恥ずかしながら自己流の川柳

・温かい　友と話して　帰路に着く
・アルバムの　戻れぬ青春に　目をさます
・今何を　悠々自適と　嘘をつく
・友が逝く　声が聞こえる　クラス会
・ダイエット　何年続く　年賀状
・カラオケは　青春時代を　いつまでも
・我が道は　喝采なくて　泣き笑い
・定年後　妻と旅する　夢をみる

平成27年度

クラブ活動報告

（全国大会・地区大会の主要な結果）

＊詳細については、学校ホームページをご覧ください。

女子サッカー部

- 関西高等学校女子サッカーリーグ
  1部　優勝
  優秀選手に以下の生徒が選ばれました。
  山下　夏穂
  大会優秀選手・年間優秀選手
  小川　優花・祐村　ひかる・猪亦　玲音
  大会優秀選手

空手道部

- 平成27年度近畿高等学校空手道大会
  【男子団体形】第3位
  【男子個人形】優勝　星加　将吾
  【女子個人形】第3位　田中　紅麻
  【男子団体組手】第3位
  【女子団体組手】第5位
  【女子個人組手】第5位　高木　七奈
- 和歌山ビッグホエール大会
  全国高等学校空手道大会
  【男子団体組手】準優勝
  【女子団体組手】準優勝
- 第29回桃太郎杯全国高等学校空手道練成大会　一年生大会
  【女子団体組手】第3位
- 第11回金鯱杯争奪空手道選手権大会
  【男子団体組手】優勝
  【女子団体組手】準優勝
- 平成27年度　全国高校総体空手道
  【男子個人形】第3位　藤田　心
- 第30回火の国旗全国高校空手道優勝大会
  【女子団体組手】準優勝
- 2015紀の国わかやま国体
  第70回国民体育大会空手道競技
  【少年男子形個人戦】
  藤田　心（3年）　優勝
  【少年女子形個人戦】
  小川　彩月（特技3年）　ベスト16
- 第34回全国高等学校空手道選抜大会
  【女子団体形】12年ぶり2度目の優勝
  （大阪学芸高校としては3年ぶり5度目の全国制覇）
  【男子団体形】準優勝
  （男子団体形としては過去最高の成績）

柔道部

- 平成27年度全国高等学校柔道大会大阪府大会
  【女子団体戦】準優勝
- 平成27年度大阪高校女子柔道体重別選手権大会
  間　琴乃（2年）　第3位
- 第10回近畿ジュニア柔道体重別選手権大会
  【44kg級】近藤　綺音（特技2年生）
  第5位
  【57kg級】橋詰　万早美（特技3年生）
  第5位

男子バレーボール部

- 泉南地区大会　第3位

女子バレーボール部

- 大阪総体西地区優勝（決勝ラウンド進出）
- 春季・秋季部別（1部リーグ）　優勝
- 泉南地区大会　準優勝

吹奏楽部

- 大阪府吹奏楽コンクール中地区大会
  金賞
- 大阪府マーチングコンテスト
  金賞（関西大会出場決定）
- 関西マーチングコンテスト　銀賞

美術部

- 大阪府高等学校芸術文化連盟
  美術・工芸部門展覧会
  【デザイン分野】入選　森中　美咲／宮田　詩穂／河内　香寿美
  【絵画分野】入選　角田　諒
- 第64回大阪美術展覧会
  森中　美咲（1年）　優秀賞
  角田　諒（2年）・辻　陽富（2年）　奨励賞
- 第48回私学写生大会
  角田　諒（2年）・森中　美咲（1年）
  写生大賞
  松若　葵（2年）・大西　杏佳（2年）・中山　龍樹（2年）・富田　詩穂（1年）
  奨励賞

コーラス部

- 第15回大阪ヴォーカルアンサンブルコンテスト
  大阪学芸高等学校コーラス部女声　銀賞

囲碁・将棋同窓会

- 第36回大阪府高等学校芸術文化祭囲碁部門
  【Dリーグ】優勝　橘　啓輔
- 大阪府高等学校囲碁連盟30周年記念大会
  【個人戦】優勝・準優勝
- 第39回全国高等学校総合文化祭
  （滋賀びわこ総文）
  石本　さくら（2年）
  【将棋女子個人戦】準優勝（文化庁長官賞）
- 第39回　全国高等学校総合文化祭
  【囲碁部門】福田　志保　出場

大阪学芸高等学校吹奏楽部 OB会吹奏楽団より

OB会吹奏楽団
団長　上田　勝真（平成15年卒）

平素より同窓会会員の皆様には多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

私たち、大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会吹奏楽団は、昨年11月3日(祝)に第10回定期演奏会を阿倍野区民センター大ホールにて開催しました。

記念すべき節目の回という事で、楽団員以外のOB・OGも多く集まり、吹奏楽部員には思い出深いD・ショスタコーヴィチの「祝典序曲」等を演奏し大盛況に終わりました。

今年に入り大阪学芸のある住吉区での活動も積極的に行い、2月6日(土)に第19回すみよし文化フェスティバルに参加し「タイプライター」「青春の輝き」等演奏し、このお祭りに花を添えました。

第19回すみよし文化フェスティバルより

また、先日4月24日(日)にJR難波駅前のポンテ広場にて恒例のスプリングコンサートを開催しました。

耳馴染みのある曲を中心に選曲し、「弾厚作メドレー」や「ディズニーランドセレブレーション」等を披露し、お客様にも好評を博しました。

現在、楽団は今秋の演奏会に力を入れて練習に励んでいます。随時団員募集中で、吹奏楽部OB・OGであればどなたでも入団可能です。

希望者は団員または楽団Facebookのページ等でご連絡願います。

最後になりましたが、同窓会の会員の皆様におかれましては、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新同窓会室ご案内

このたび学園のご好意により新同窓会室を開設する事になりました。

本学園より北へ500メートル位のところにあります。

前の同窓会室の3倍の面積があり快適に会議する事が出来るようになりました。

平成27年8月8日の役員・委員会で新同窓会室のレイアウトを確認・引っ越し作業を完了しました。

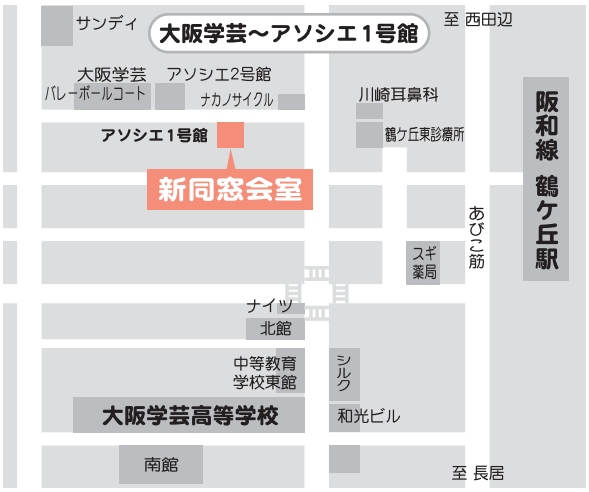
新しい同窓会室

平成27年10月3日の役員・委員会会議より新同窓会室(アソシエ1号館3階・大阪市阿倍野区阪南町7―5―30)にて開催する事が出来ました。

このビルは学園も使用されていますので、同窓会役員・委員会の会議開催のときにでもご来室ください。

先ずはご案内申し上げます。

アソシエ1号館



井内博見先輩の経歴

井内博見氏は成器商業高校の2期卒業で日本銀行入社後、関西大学2部、関西学院大学に学ばれ、卒業、大阪銀行入社後監査役、不動建設(株)副社長、福祉産業(株)社長等の要職に就かれて活躍、その傍ら本校法人理事長、同窓会会長に就任、本校発展に尽くされました。

特に本校百周年の記念行事に取り組まれ、平成15年10月25日、学校法人大阪学芸創立百周年を祝う式典が、帝国ホテル大阪において盛大かつ厳かに挙行されました。

参加者は祝賀会を含めて約800名にものぼり、成功裏に収められたことは記憶に新しいところです。

記念式典は、広い会場に同窓生を始め学園関係者らが再会を喜び旧交を温めあう姿で埋め尽くされました。井内理事長の挨拶で学園の歩みに感慨深く聞き入っていました。

式典の後の脚本家のジェームス三木氏を迎えた記念講演「ことばのコミュニケーション」では、全員がみるみる講演に引き込まれていきました。又平成15年12月28日に発刊された百周年記念誌に就いてもご尽力されました。

その井内先輩が永眠されまして、葬儀は平成16年11月7日(日)美原町の南大阪会館で執り行われ、当時和田貞夫同窓会長が葬儀委員長をつとめられました。

◆管長猊下森　寛紹師(2部7期)の許で、卒業論文を高野山の普賢院で宿泊して書き上げたという本人の逸話があります。

略歴

◆1932年(昭和7)年1月28日
大阪市東住吉区駒川で生まれる

◆1944年(昭和19)年4月
成器中学1年入学

◆1950(昭和25)年3月
成器商業高校首席で卒業
日本銀行勤務(1年間)

◆1954(昭和29)年3月
関西学院大学卒業

◆1954(昭和29)年4月
大阪銀行勤務

◆1982(昭和57)年4月～1995(平成7)年
不動建設株式会社副社長

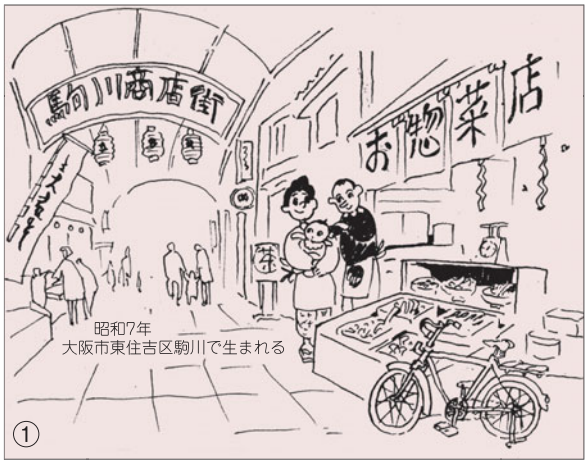
◆1995(平成7)年～2000(平成12)年
福祉産業株式会社社長と大阪銀行監査役を歴任

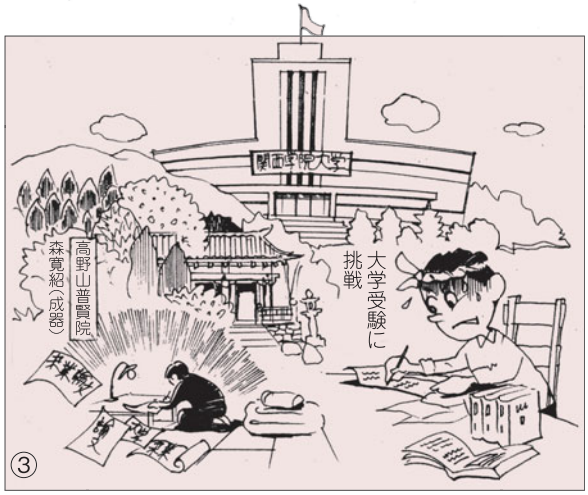
◆1995(平成7)年10月～2000(平成12)年3月
大阪学芸高等学校同窓会会長に就任
会報誌「学芸」創刊号を発行

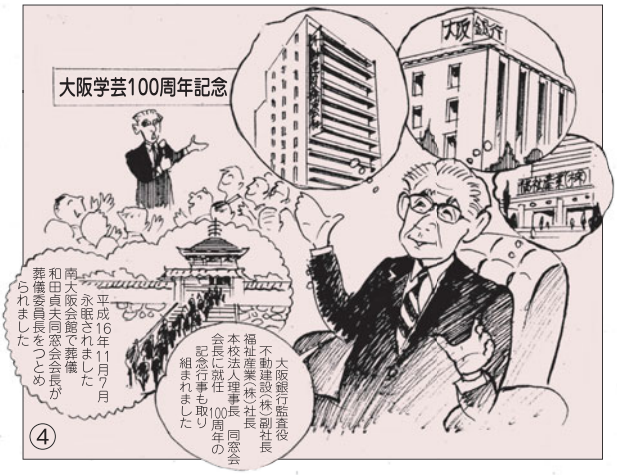
◆2000(平成12年)年4月～2004(平成16年)年3月
学校法人大阪学芸理事長に就任

◆2004(平成16)年11月
松原市阿保にて死去

同窓会会長・学園理事長を歴任







年会費納入のお願い

今年学園創立百十三周年、同窓会設立四十二周年を迎えました。我が母校は32,000名を越す卒業生が居り、内連絡の取れる方が16,000名以上に至ります。各界で多数の卒業生が活躍しておられます。

我が同窓会の収支計算書を見ますと、会費納入者の少ない事にお気付きかと思います。「会員相互の親睦をはかるとともに、母校の発展に寄与することを目的とする」と、会則・第3条にあります。その目的達成の為、役員一同は日頃懸命に努力しております。不行届きの点多々あると思われますが何卒ご寛容下さい。

同窓会は勿論、会員皆さんの会費で運営されております。年間3,000円の会費です。出費の多い事、又邪魔臭い事などいろいろな事情は有るかと思いますが、何卒ご協力頂きます様をお願い申し上げます。

年会費納入者

平成27年4月1日以降平成28年3月31日までの受付分98名、金294,000円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、厚く御礼申し上げます。

平成28年度 同窓会募金にご支援とご協力お願い

同窓会の皆々様におかれましては、益々ご健勝のことと存じ上げます。

平素は、大阪学芸高等学校同窓会《通称（成器会）》に対し、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

この募金にご協力頂きました方々のご芳名を下記に記載させて頂きました。ここに改めて深く感謝の意を表します。

既に今年は、中国経済の減速や世界的な金融市場の混乱を背景に、賃金水準は昨年実績の半分程度になり、デフレ脱却を目指す政権には厳しい内容であり経営者側は、先行きの不透明感を強めており、賃上げへの認識は極めて厳しい状況で「進展はない」とされています。

其の為にも引き続き学校側のご協力を頂き、皆様から受け継がれる伝統を次世代に繋げるための契機としたいと考えています。

長い年月を経て変わりないものは、同窓生の皆様の母校に対する思いです。その思いによって結ばれる絆は掛け替えのないものです。この絆の礎ともなる母校は、これからの更なる発展のために可能な限り募金活動を続けて実施し、是非皆様のお力添えを頂きたくお願いを申し上げます。

平成8年度からは、年会費もお願いし、これからも自助努力で会報の発行を継続するため同窓会各位の積極的なご支援、同窓会活動の活性化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、ご協力、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

温かいご寄付に感謝します 寄付金応募者ご芳名録

平成27年4月1日以降平成28年3月31日までの受付分29名、金201,500円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、ここにご芳名を揚げ厚く御礼申し上げます。

（敬称略・到着順）

平松　輝義（昭和19年卒）
藤井　昭三（昭和20年卒）
高田　良造（昭和23年卒）
吉田　秀勝（昭和25年卒）
足立　好一（昭和25年卒）
森島　春夫（昭和26年卒）
武江　栄太郎（昭和28年卒・元教職員）
仲西　晃（昭和31年卒）
林　建次（昭和34年卒）
米田　孝（昭和34年卒）
南浦　喜久雄（昭和35年卒）
柴田　泰三（昭和36年卒）
内海　春樹（昭和36年卒）
花谷　壽一（昭和36年卒）
川中　信行（昭和36年卒）
山田　勝比古（昭和37年卒）
中西　徳明（昭和37年卒）
井上　佐治朗（昭和42年卒）
田中　達夫（昭和43年卒）
伊丹　耕治（昭和43年卒）
田浦　龍次（昭和45年卒）
芦阪　伸二（昭和46年卒）
田中　敏文（昭和47年卒）
数田　政宏（昭和50年卒）
石田　佳志（昭和52年卒）
吉田圭一郎（昭和59年卒）
向山　直輝（平成18年卒）
岩崎　久浩（平成25年卒）

学園関係物故者 慰霊碑管理基金のご協力お願い

皆様ご存知の通り、世界遺産の地・高野山に学園創立100周年を記念して同窓会が学園関係物故者慰霊碑を建立致しました。従って維持管理は同窓会が行う事になっております。

この慰霊碑が建立（完成）されて、今年は10年の節目の年になります。

毎年、同窓会が主要な行事として開催しております、恒例の「高野山普賢院一泊と学園慰霊碑参拝及び野迫川温泉旅行」は、今年も8月6日～7日に開催予定となっております。

高野山は弘法大師空海が密教の道場を開き、昨年は開創1200年の年でもありました。

是非世界遺産でもある高野山を訪ねて頂き学園慰霊碑にご参拝下さいます様お願い申し上げます。

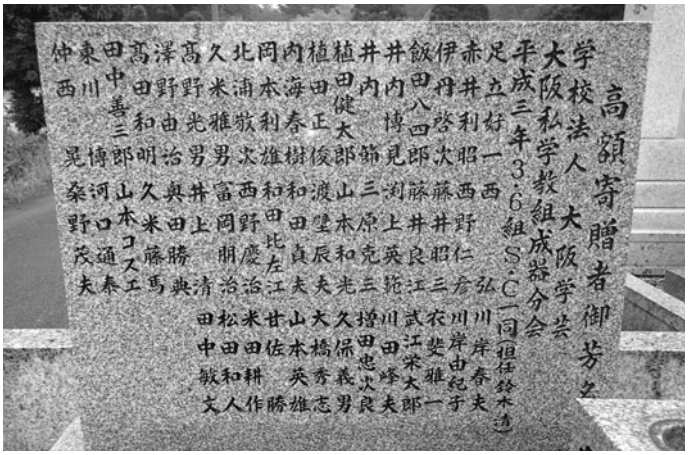
なお、この慰霊碑を維持管理する為には、会員各位のご協力が必要です。引続き募金の活動を行っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

高額のご寄付を戴いた方には、ご芳名を慰霊碑前の「高額寄付者芳名石」にお名前を刻銘する事になっております。

高額寄付者とは、10万円以上の方をいいます。以前に建立基金の募金として、10万

円未満のご寄附を戴いた方には、10万円に達する様、管理基金として追加のご寄附を戴き、累計（合計）で10万円に達しましたら、高額寄付者となります。毎年少額だけど少しづつご寄附をして頂いている方に申し上げます。私はすでに、10万円に達してますと、お心当たりのある方は同窓会事務局にご連絡下さい。同窓会が管理する寄付金台帳の確認をさせて頂きます。何卒会員皆様方のご支援とご理解を切にお願い申し上げます。

募金方法　一口一万円口数制限なしで
（ただし事情により一口単位に達しない場合にも喜んで）
お受け致します。
※お振込は下記に記載の通りです。



御芳名標石

慰霊碑管理基金
寄付者ご芳名録

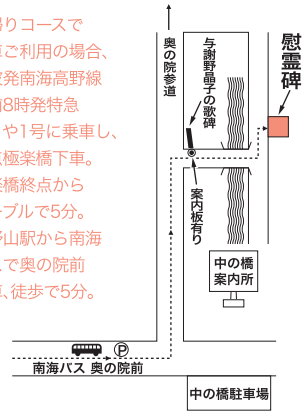
平成27年4月1日以降平成28年3月31日までの受付分11名、金147,000円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、ここにご芳名を揚げ厚く御礼申し上げます。

（敬称略・到着順）

武江栄太郎（昭和28年卒・元教職員）
仲西　晃（昭和31年卒）
柴田泰三（昭和36年卒）
川中信行（昭和36年卒）
大迫俊郎（昭和37年卒）
大橋秀志（昭和41年卒）
伊丹耕治（昭和43年卒）
芦阪伸二（昭和46年卒）
万戸貴之（平成1年卒）
森口晴男（昭和9年卒
・森口肇氏実弟）

ご案内図

●日帰りコースで
電車ご利用の場合、
難波発南海高野線
午前8時発特急
こうや1号に乗車し、
終点極楽橋下車。
●極楽橋終点から
ケーブルで5分。
●高野山駅から南海
バスで奥の院前
下車、徒歩で5分。



慰　霊　碑

年会費・募金・慰霊碑管理基金
お申し込み方法

振込み用紙は、送付された郵便局の払込取扱票（赤字印刷）を使用されるか、郵便局に備え付け用意されている払込取扱票用紙（青字印刷）をご使用下さい。青色印刷の払込用紙ご使用の際は、振込手数料を差引いてお振込みください。なお、振込手数料は郵便局職員にお尋ね下さい。

【郵便局】
・口座番号　00900-1-7923
・加入者名　大阪学芸高等学校同窓会（成器会）

訃報

ご逝去の通知を頂いた方々のご冥福をお祈りするとともに同窓生各位にお知らせします。

（敬称略・卒業順）

御存名	卒業期	死亡年月日
久米　常雄	（昭和26年卒）	（平成28・5・4）
津田　達男	（元教職員）	（平成28・3）
松下　勤	（昭和29年卒）	（平成27・3）
宮本善之助	（昭和30年卒）	（平成28・2・19）
岡本　芳雄	（平成23年卒）	（平成27・2・21）

あとがき

会報発行後早や21年目を迎え、お陰様で関係各位のご協力により平成28年度会報21号を皆様にお届けすることが出来ました。

既に、本校創立113年を迎える大阪学芸が、教職員の教育に対する熱い情熱の支えに着実に社会の信頼を克ち取りながら、連綿と積み重ねて確固たる伝統を守りながら理想の教育を追求して行き、学園を支えて行く魅力溢れる取り組みが永続発展に大切だと考えます。今後、学園を挙げて一層の教育内容の充実に期待する次第であります。

最後になりましたが、ご寄稿頂きました皆様方並びに広告掲載にご協力頂きました方々に深く感謝し御礼申し上げます。

終わりに皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り致しましてあとがきのご挨拶とさせて頂きます。

副会長　田中　敏文

お詫びとお願い

会報[学芸21号]発刊にあたりまして、お詫びを申し上げます。

平成28年6月末日発刊の予定で準備を進めてまいりましたところ、6月11日の定期総会におきまして会長の交替が決議されました。編集・原稿の校正締切り都合上、米田耕作新会長のご挨拶が掲載出来ませんでした。又、その他随所に不都合が発生致しました。何卒ご理解頂きたくお願い申し上げます。

なお、新会長のご挨拶は同窓会ホームページにアップいたしましたので、ご一読頂きます様お願い申し上げます。

編集委員一同

平成28年度の行事予定・定期総会及び懇親会を左記の通りご案内申し上げます。
つきましては、同窓会のお知り合いお誘い合わせの上、多数ご出席を頂けます様お願い申し上げます。

平成28年度行事予定・29年総会及び懇親会のご案内

●高野山普賢院一泊と学園慰霊碑参拝及び野迫川温泉旅行

日　時　平成28年8月6日(土)～7日(日)

スケジュール

一泊コース　6日(土)の午後5時迄に高野山・普賢院に集合する。
普賢院で宿泊し、翌日(7日)、奥之院・学園慰霊碑を参拝後、野迫川温泉を訪ねて昼食をとる。

日帰りコース　7日(日)南海高野線・難波午前8時00分発こうや1号に乗車し高野山の学園慰霊碑前に午前10時10分に集合する(慰霊碑前で一泊組と合流する)
学園慰霊碑参拝後、野迫川温泉を訪ねて昼食をとる。

会　費　一泊コース15，000円　日帰りコース5，000円

注意　参加希望者は予約が必要ですので、必ず2週間前迄に同窓会までお申し出下さい。案内状と参加希望申込書をお送りします。

●秋季懇親会(参加人数により場所・時間を変更する場合があります。)

平成28年11月19日(土)
(場所…ニューミュンヘン南大使館)5時～

●総会及び懇親会(参加人数により場所・時間を変更する場合があります。)

平成29年6月上旬
(場所…道頓堀ホテル)4時～総会終了後懇親会

※右記諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので卒業期・年度・住所・氏名・TEL・FAX等ご記入の上、左記の所に葉書にてその旨をお知らせください。
※やむをえない事情により日程・その他を変更する事がありますので、参加ご希望の方はその都度役員にお聞きください。
※同窓会ホームページでも案内しておりますので、ご覧下さい。

宛先　〒五五八-〇〇三　大阪市住吉区長居一-四一-一五
大阪学芸高等学校同窓会(成器会)
TEL　〇六(六六九三)六三〇一
FAX　〇六(六六九三)五一七三

平成27年度　決算報告

平成27年度　会計決算報告書

(自　平成27年4月1日～至　平成28年3月31日)

単位：円

収入の部		支出の部	
摘　要	金　額	摘　要	金　額
入会費	2,550,000	総会（懇親会）費	387,233
年会費	294,000	秋季懇親会費	340,000
寄付金（募金）収入	201,000	学園慰霊碑参拝費	226,000
慰霊碑管理基金収入	147,000	会報「学芸」作成費	864,766
広告収入	140,000	慰霊碑管理費	97,000
		記念品費	364,440
行事協賛金（学園より）	350,000	寄贈費	60,000
総会（懇親会）会費	191,000	広告宣伝費	20,000
秋季懇親会会費	192,500	通信費	143,570
学園慰霊碑参拝会費	200,000	会議費	74,834
雑収入	389	旅費交通費	106,000
受取利息	479	慶弔費	2,170
		支払手数料	73,199
		事務用消耗品費	2,766
		雑　費	7,140
		事務所移転	240,749
前年度繰越金	6,445,631	次年度繰越金	7,702,132
合　計	10,711,999	合　計	10,711,999

上記の通り報告します。

会計　氏田隆夫

会計監査報告

上記の会計決算報告について監査した結果、適正と認めます。

会計監事　河口通泰
会計監事　大橋秀志

広告掲載を賜りまして誠にありがとうございます

学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、
今後も広告の掲載にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

丸善電機産業株式会社
専務取締役 橋本浩行
（高校(普)18期生・昭和56年卒業）
本　社
〒547-0033　大阪市平野区平野西1丁目2番6号
TEL(06)6797-1133(代)　FAX(06)6797-1137
丸善電機(昆山)有限公司
中国江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区天文路20号
TEL0512-5761-8711　FAX0512-5761-7917
URL http://www.magnix.co.jp

仕出し料理専門店
株式会社 彩味（さいみ）
取締役会長
平野正治
代表取締役
平野政則
〒559-0002
大阪市住之江区浜口東2-7-14
TEL 06-6675-9251
高校13期 昭和36年卒業

家族葬・法事専門会館
日の出会館
彩味聖天坂店
（阪堺線聖天坂駅前）
〒557-0042
大阪市西成区岸里東1-1-14
TEL 06-6652-4772

仕出し料理専門店
株式会社 日の出庵
取締役会長
平野正治
代表取締役
平野剛
〒551-0013
大阪市大正区小林西2-4-1
TEL 06-6651-3344

昭和39年卒業生
第18回
成器サンキュー会
同窓会
2016年7月23日（土）
PM6:00～9:00
於:ナンバ道頓堀ホテル

税務・労務・法律・行政をはじめ
中小商工業者のあらゆる相談は…
全中連協同組合 大阪中小企業経営センター
理事長 和田貞夫
成器会 名誉会長
（大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業）
〒590-0953　堺市堺区甲斐町東4丁1番10号
TEL(072)221-5115　FAX(072)221-5055
E-mail keiei_center@ockc1969.jp
URL http://www.ockc1969.jp

ガス & 水道
住之江ガスセンター(有)仲西商店
代表取締役　仲西　晃
大阪学芸高等学校同窓会(成器会)名誉会長
（学校法人大阪学芸顧問・高校8期・昭和31年卒業）
ガスふろ給湯器・ガス器具全般・ガス工事
水洗トイレ器具全般・洗面化粧台・水道工事
システムキッチン&バス・リフォーム工事
〒558-0033 大阪市住吉区清水丘2-32-25
電話06-6672-4126（ヨイフロ）　FAX06-6673-4870

いづみや 岡本鉄工
代表取締役 岡本利雄
（学校法人大阪学芸理事長・昭和41年卒業）
大阪市平野区瓜破南2丁目1番32号　TEL06-6707-6987

年金・労務などの御相談は
社会保険労務士 藤井昭三
［元大阪府議会議員
2部 昭和20年卒業 成器会顧問］
〒572-0005　寝屋川市成田西町16－2
TEL 072-833-8585　FAX 072-833-8586

REAL PARTNER
社団法人/全国宅地建物取引業保証協会
社団法人/大阪府宅地建物取引業協会
宅建免許/大阪府知事(3)第48749号
有限会社 朝日プランニング
代表取締役 衣斐雅一
（高校27期・昭和50年卒業）
〒545－0043　大阪市阿倍野区松虫通2－8－9
TEL(06)6655－6774　FAX(06)6655－6775
asahi0829@clock.ocn.ne.jp

足立硝子株式会社
・〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6
TEL.大阪(06)6643-0335
FAX.(06)6643-5677
・〒452-0001 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3
TEL.名古屋(052)506-7505
FAX.(052)506-1633
・〒210-0014 神奈川県川崎市川崎区貝塚1丁目15-4(エスタビル2階)
TEL.東京(044)221-3105
FAX.(044)221-3107
H.P 090-3030-0897
URL http://www.adachiglass.co.jp
E-mail adachi@adachiglass.co.jp
代表取締役会長 足立好一
（高校1期・昭和24年卒業）
学校法人大阪学芸顧問・成器会顧問

株式会社 松本建材
松本静夫
（昭和35年卒業）
〒558-0011 大阪市住吉区苅田8-12-22
電話　06-6698-7989

美術印刷・Web制作
企画・提案・製作
株式会社 ヒラックス
代表取締役 上野寅次郎
（成器会副会長・高校9期・昭和32年卒業）
〒581-0012　大阪府八尾市小阪合町1-2-15
TEL(072)929-8739　FAX(072)929-8737
E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp

鉄・ステンレスパイプ　切断専門
環境に優しい商品の取り扱い
食品衛生管理でお困りの方
ご一報下さい。
西野パイプ株式会社
代表取締役 西野仁彦
（高校11期・昭和34年卒業）
TEL(072)255-0803　FAX(072)255-0804
e-mail nishino-paipu@mbi.nifty.com
インターネットショップ(West Field)
http://w-field.b-smile.jp/

熊　本　地　震

平成28年4月14日夜・16日未明に熊本県を中心に大地震がありました。
この大地震により多数の命が失われました。哀悼の意を表し、被災された
方々にお見舞い申し上げます。1日も早い復旧・復興をお祈りします。

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）名誉会長　仲西　晃・役員一同

■表紙絵及びイラスト　作家プロフィール
はら　たくみ(原　琢三)
イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員
各界で活躍中

※表紙のイラストと漫画は故井内博見先輩をイラストで書きました。
1932(昭和7)年1月28日大阪市東住吉区駒川で生誕され1950(昭和25)年3月に成器商業高校を主席で卒業されました。1995(平成7)年10月同窓会会長に就任「同窓会誌」を創刊されました。
2000(平成12)年に学園理事長に就任、100周年記念行事を成功に導かれました。
2004(平成16)年11年松原市阿保に死去。